

中学校、高等学校、特別支援学校をステージに
PTA研修や保護者会などで使える



思春期版 家庭教育支援プログラム ～保護者の学びや育ちを応援しよう！～

今日、子どもや保護者を取り巻く社会状況が大きく変化する中、社会全体で家庭教育を支える環境づくりの重要性が増してきております。特に、思春期は、子どもが社会に出て独り立ちをする準備の時期であり、子どもは様々な不安や葛藤の中成長していきます。このような時期だからこそ、家庭、学校、地域が一緒に子どもたちに関わり、成長を見守っていくことが大切です。

県教育委員会では、思春期の子どもを持つ保護者を対象とした家庭教育支援の充実を図るため、保護者にとって身近な中学校や高等学校、特別支援学校をステージに、PTA研修や保護者会などで活用できる「思春期版家庭教育支援プログラム」を開発しました。このプログラムには、進路や友人関係等に悩む思春期の子どもとの向き合い方や、多くの保護者が集まる機会に効果的に学習機会・交流機会を提供する方法等について紹介しています。

「思春期版家庭教育支援プログラム」の活用は、保護者の方々の日常の不安や悩みの軽減、ネットワークづくり、そして、学校理解にもつながります。このプログラムが様々な機会に活用され、家庭の教育力の向上が図られるとともに、社会全体で子どもたちを育む気運が高まっていくことを期待しております。

平成24年3月

栃木県教育委員会教育長 須藤 稔



プログラムを実施して、保護者と担任とのコミュニケーションづくりのきっかけになりました。また、保護者同士の交流が深まり、PTA活動の活性化にもつながりました。今後、保護者が学校に足を運びやすくなるような気がします。

(黒磯高等学校 渋江校長)

もくじ

プログラム活用の魅力と効果は？	P 2
思春期とは、こんな時期です！	P 3
親学習プログラムを活用してみませんか？	P 4
実践レポート！	P 8
親プロQ&A	P 11
他にどんなプログラムがありますか？	P 12